

統計ニュース

〈報道各紙掲載記事より抜粋〉

《国内・国際》

6/4 出生率 1.37 に増

女性 1 人が生涯に産む子どもの平均数を示す合計特殊出生率が 08 年は 1.37 で、前年を 0.03 ポイント上回ったことが、厚生労働省が 3 日発表した人口動態統計で分かった。05 年に 1.26 と過去最低になって以来、3 年続けて上がっている。20 代女性の出生率は横ばいだが、30 代の上昇が全体を押し上げた。

ただ、人口に占める若年人口（0～14 歳）の割合は減り続けており、少子化の流れに歯止めはかかっておらず、今後も人口減少が進む状況に変わりはない。

6/6 生活保護受給 165 万 4600 人

全国で生活保護を受給している人は、3 月時点で 165 万 4612 人に上ったことが 5 日、厚生労働省の集計で分かった。前年同月比では、約 8 万 8 千人増えた。

2008 年度の月平均受給者数（速報値）は推計で前年度比約 5 万人増の約 159 万人となり、13 年連続で前年度を上回った。1965 年度以来の水準。

6/9 精神疾患労災認定 3 年連続で過去最悪

仕事上のストレスが原因で精神疾患になり 08 年度に労災認定を受けた人が 269 人（07 年度比 1 人増）と 3 年連続で過去最悪を更新したことが 8 日、厚生労働省のまとめで分かった。20、30 代を中心に高い水準が続いており、半数以上を占めた。また、過労自殺の労災認定は 66 人、過労による脳・心疾患は 377 人（うち死亡 313 人）で前年度からそれぞれ 15 人減ったが、両方とも高水準で推移している。

6/17 家庭の貯蓄、減速

総務省が 16 日発表した家計調査の 08 年平均速報によると、同年の 1 世帯当たり（単身世帯を除く）貯蓄残高は年平均で 1680 万円と、4 年ぶりに 1700 万円を割り込んだ。貯蓄が 100 万円に満たない世帯の割合も全体の 1 割を超え、昨年秋以降の景気減速の影響が家計にも及んでいるようだ。

6/20 農家向け融資 2 年で 2.7 倍

日本政策金融公庫の農業向けの融資実績が急増している。経営改善などに取り組む農家を対象にした融資は 2008 年度は 1401 億円で、06 年度の 522 億円の 2.7 倍に上った。同融資は 07 年度から実質的に無利子で受けられるため、近年の燃料や飼料などの価格高騰の影響で資金繰りの厳しい農家を中心に利用が広がった。

6/27 物価 最大の 1.1% 下落

総務省が 26 日発表した 5 月の消費者物価指数は、値動きの大きい生鮮食品を除く総合指数が前年同月比で 1.1% 下落し、過去最大の下落率を記録した。ガソリンなどエネルギー価格の下落が最大の要因だが、日用品や衣料品など景気に左右されやすい商品の価格も下落基調にある。日本経済の需要不足は深刻で、デフレ再来の懸念が強まっている。

《県内》

6/2 県内観光客 昨年 2451 万人、微増

県観光交流課がまとめた 2008 年の観光客動態調査の結果によると、昨年 1 年間の県内観光客数は 2451 万 4 千人で前年より 16 万 1 千人（0.7%）増え、2 年ぶりの増加となった。県内を対象に JR グループなどと展開した大型観光キャンペーン「おいでませ山口 DESTINATION キャンペーン（DC）」により期間中の 7 月から 9 月まで 3 カ月間は前年に比べ 36 万 7 千人（5.1%）増えたものの、燃油高による近隣圏からの観光客の伸び悩みや秋以降の景気低迷の影響により、通年では微増になったと分析している。

6/19 農作物サル被害額 1.4 倍

サルによる農作物被害が県内で急増している。2008 年は前年に比べ被害面積が 1.5 倍の 97.2 ㌶、金額も 1.4 倍の 1 億 3800 万円に達した。野菜や果物を食い荒らすほか、いたずら半分で収穫前にもぎ取ってしまう被害もあるという。過去 10 年では被害面積、金額とも約 2 倍に増えている。県が 18 日、県鳥獣被害防止対策協議会で報告した。